

## 学校運営協議会議事録

校名	府立西浦支援学校
校長名	山崎 彩
准校長名	鈴木 亮彦

開催日時	令和5年6月30日(金) 10:00～11:30
開催場所	大阪府立西浦支援学校 校長室
出席者(委員)	加藤委員、藤川委員、今西委員、葉山委員、八木委員、荻野委員
出席者(学校)	山崎校長、鈴木准校長、榮教頭、中村事務長
	福井教務主任、川口首席、小池首席、小海首席
傍聴者	0名
協議資料	
備考	

### 議題等(次第順)

- (連絡・報告)
- ・令和5年度学校経営計画
  - ・令和5年度教科書選定について
  - ・令和5年度農福連携PTの取組みについて

### 協議内容・承認事項等(意見の概要)

#### 【承認事項】

- ・農福連携の取組みが学校経営推進費推進校に採択されたため、高等部学校経営計画中期の目標1(3)を「R7までに農業関係の就職者を1人以上出す」など具体的な記述に変更したことについて、委員より承認を受けた。
- ・令和5年度学校経営計画について、承認を受けた。

#### 【委員からの主な意見】

- ・安全安心な学校づくりには、教員の心のゆとりが必要だと思われる。現在も金曜日を一齐退庁日にしているが、教員の過度な残業を減らすなど負担軽減に向けた取組みが重要である。
- ・地域の学校にも支援を要する子どもがいるので、教員向けの学校見学会や研修を実施したり、綿密に打ち合わせをしたうえで学校間交流を実施したりしていることは良い。
- ・高等部の職業コースの希望者が減少傾向にあるとのことだが、企業側には生活面で安定している生徒を積極的に採用しようという動きもあり、就職のチャンスは増えてきている。
- ・卒業後の選択肢が増える中、生徒の実態に応じた進路支援が求められる。
- ・金銭感覚や「たのむ力」、「ことわる力」を高等部卒業までに身につけておくことが大切だと思う。
- ・卒業までに学校以外の機関と連携し、例え一度うまくいかなくても、再チャレンジできる環境を整えておくべき。
- ・若い教員の離職率が高くなっているが、西浦支援学校で行っているOJTやメンター・メンティー制により日頃から経験の浅い教員の相談に乗るなど、職場の環境を整えていってほしい。
- ・ぶどう栽培により小学部、中学部、高等部で系統性のあるキャリア学習を行うこと、生活年齢などに応じて児童生徒に合った作業を用意することなど、農福連携の取組みに期待したい。
- ・ぶどう栽培の中で、児童生徒に合った作業を用意して分業すると、自分の担当している作業が全体に与える影響をイメージしにくくなるので、それが分かるような工夫があった方がよい。

### 次回の会議日程

日時	令和5年11月下旬 10時開始予定
会場	府立西浦支援学校 校長室